

http://nakayashiki.net/

がんばろう日本! 負けなめで東北!



7/26 なかやしき慎一県政報告会に岩崎副知事、原口市長、多数の皆様にご臨席賜りました。

「暑さ、寒さも彼岸まで」のことわざの通り、9月下旬からすっかり秋めいてきたなと思っていたら、10月に入って二つの台風が列島直撃。地元鴻巣を始めとする埼玉県内には、幸いにして大きな被害はなかったようなので、「ホッと胸をなでおろしました。しかし、全国に目を向けると、広島で発生した大規模土石流による災害や救助活動も大変難航した御嶽山の噴火による災害など、痛ましい出来事が続いています。尊い命を落とされてしまった皆様のご冥福を心から祈りすると共に、被災された皆様の1日も早いご

神無月に思う

なかやしき慎一

チャレンジ通信

なかやしき慎一チャレンジ報告 討議資料

回復をお祈りいたします。さて、私なかやしき慎一も、市民の皆様からご付託を頂き、県議会議員として7年半務めさせていただきました。初当選以来、一党一派に縛られず、自らの考えをしっかりと持った議員活動をしていこうと、「刷新の会」に席を置いて参りましたが、この度9月12日付で会派を離脱させていただきました。「えっ」と思われる方もいらっしゃると思いますが、「県議会議員として地元鴻巣に、そして埼玉県にもっともっと貢献していくために」と考えに考えて出した結論です。これまで通り無所属であることに変わりはありませんが、この先どのような形になろうとも市民の皆様には、しっかりとお伝えして参りますので、ご理解の程よろしく願います。



9月定例会 主な内容

8月20日に広島県で発生した土砂災害で被災された皆様に対する心からのお見舞いで始まった9月定例会は、第三セクター埼玉高速鉄道(SR)の抜本的な経営再構築支援などの355億6千万円の一般会計補正予算案、県内病院の基準病床数を最大1502床まで増やせる第6次県地域保健医療計画の変更案など29議案を可決し、10日閉会しました。

長く皆さんにご不便をおかけしている、2月の大雪被害で膜屋根が破損したままになっている熊谷ドームの工事も、新設当時の工事を請け負った銭高組が31億500万円、28年3月までの履行期限で工事を請け負いました。

意見書では、2014年度産米の米価暴落への対策を求め、意見書や危険ドラッグの取り締まり強化を求める意見書など6件を可決し、近く首相や担当大臣に提出します。



県議選 鴻巣市分断区解消

すでに、皆様ご承知のことと思いますが、議会最終日の10日、来春の統一地方選、県議会議員選挙の新たな区割りや定数にかかる条例改正案が可決しました。

平成19年の選挙当時から、分断区解消を訴え続けてきた私にとっても、本当に喜ばしい結果であり、本当によかったです。

さて、今回の改正により、県全体の議員数は、現行の94人から1減の93人へ、選挙区も58から52へと再編されました。

この問題については、鴻巣市の平成17年10月の合併後も、私が初当選いただいた平成19年の選挙、そして、前回平成23年の選挙とも鴻巣市の合併特例、加須市の合併特例によって、旧川里地域は鴻巣市であるにもかかわらず、鴻巣市の選出議員の選挙にかかわれないという分断選挙区とされたままでした。

その間、市議会からは「旧川里町を同一の選挙区にすることを求める意見書」が三度にわたって提出されたり、平成22年には川里地域にお住まいの野呂氏や坂本氏を始めとする3236名にも上る皆さんから、2度にわたり請願を提出いただきました。それら諸活動の後押しもあり、今回川里分断区が解消された事は、更なる鴻巣市の一体性の確立、均衡ある発展にとって、必ずや好影響を与えてくれるに違いないと確信しています。

県議会議員選挙区 定数 93 選挙区 52



10/11 埼玉新聞記事より

わが鴻巣市は、市として一つの選挙区、定数も1増の2人という事になり、来春の県議会議員選挙は鴻巣市が始まって以来の2人を選ぶ選挙となります。私も初めての経験ですが、しっかりと取り組んで行かなければと、気を引き締めているところです。



「頑張るぞお〜」



7月24日～25日 福祉保健医療委員会視察

栃木県佐野市の認定こども園、あかみ幼稚園と宇都宮市の中外製薬工業(株)をお訪ねしました。あかみ幼稚園は、平成19年に認定こども園になり、22年に幼保連携型に移行し、0～5歳まで親の就労の有無にかかわらず幼児教育と保育を一体的に提供しています。1万7200㎡の広大な敷地で、自然と人間との付き合い方を学べる環境を整えています。また、敷地内の多くの施設を地域にも開放していて、在園児以外の親子も受け入れています。助産師さんの子育て教室やバレエ、英語遊びなどの各種オープン講座を開いたり、認定こども園としての特色の一つである「地域における子育て支援を行う機能」も充実していました。私も少し土地勘のある佐野市ですが、街から結構離れた場所に子供達がいそいそと育つこども園。素敵でした。



8月4日(月)

於:さいたま新都心合同庁舎

農業分野における障害者就労セミナー

新都心の合同庁舎で開かれた「農業分野における障害者就労セミナー」に参加しました。私自身、障害者就労にはしっかり取り組んでいかなければと様々なイベントなどにも出かけてきましたが、今回のセミナーは大変有意義でした。事例発表では、長野県小布施の「社会福祉法人くりのみ園」や熊谷の埼玉福興などの取組を伺いましたが、くりのみ園は、昨年6次産業化認定を受け障害者雇用の拡大や地域農業の活性化も図っています。埼玉福興は、農作業の分担による障害者の自立支援と担い手不足への寄与も図っているそうです。本市の花弁産業の皆さんにも、ご協力頂けるようにして行きたいです。



9月27日(土)

於:埼玉会館小ホール

拉致問題を考える埼玉県民の集い

上田知事、長峰県議会議長の挨拶の後、拉致被害者家族会の飯塚代表と特定失踪者家族の藤田さんからメッセージが述べられました。飯塚さんは、「9月にも北朝鮮から報告書が提出されると考えていたのに、相変わらず不誠実な対応だ」と落胆していました。毎年のお会いしている皆さんも年齢を重ねていっしょだったなあと改めて感じました。取り組みを加速させねばなりませんね！



川越駅で飯塚代表と。拉致被害者救出の為に街頭署名活動に参加。

9月28日(日)

於:田間宮小学校校庭・体育館

田間宮地区防災訓練

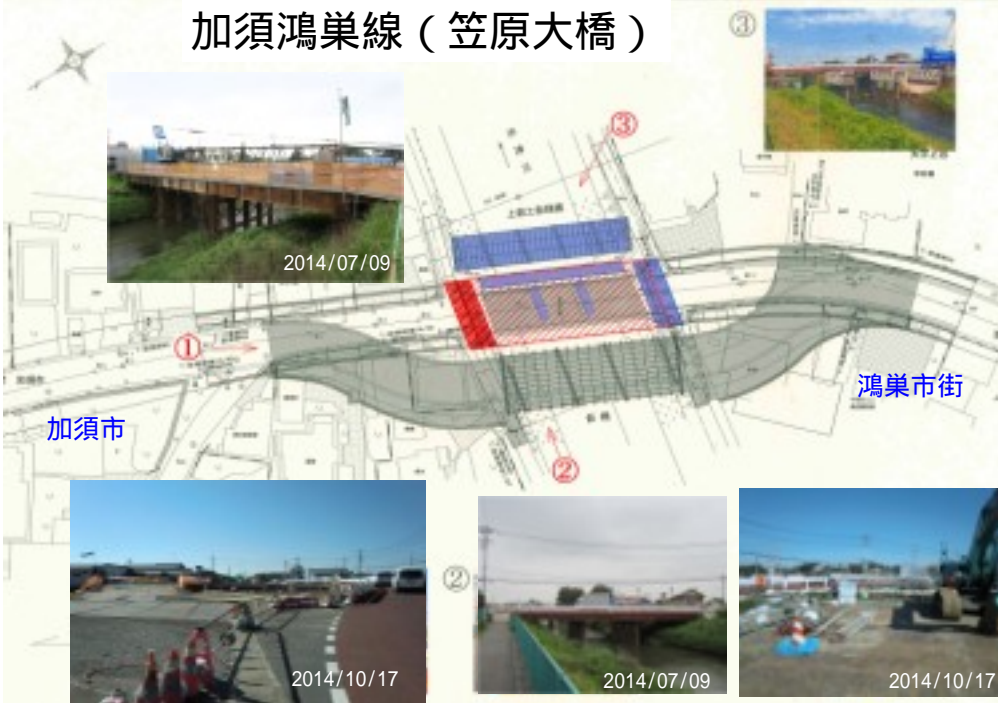
毎年地区住民700名以上が参加する大規模な訓練だが、実に良く組織されている。開会行事が始まる前から、域内の自主防災組織ごとに避難場所に指定されている田間宮小学校へと、徒歩避難を想定して集まってくる。そうした工夫からしっかりした臨場感が生まれてくるように感じた。地域がしっかりした共助体制を確立した上で行政が進める公助と結んでいく。機能する防災にはなくてはならない要素だと知らされました。



9

～工事進捗状況のお知らせ～

加須鴻巣線(笠原大橋)



現在、下部工(橋桁など)の下流側を完了し、上流側及び上部工(橋本体)の工事に取り掛かる予定です。年度内の工事計画の進捗は、極めて順調に進んでいます。平成27年12月の新橋上の通過交通を目指し、工事を進めていきます。周辺の工事も含め、27年度末完成の予定です。

10月4日(土)

於:コスモスアリーナふきあげ

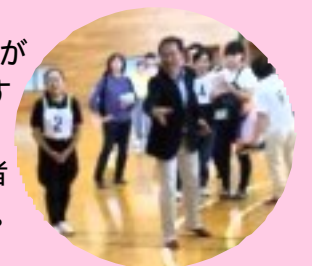
鴻巣市障がい者スポーツ・レクリエーション大会

57名の参加者のみなさんが、風船バレーボール、卓球バレー、フライングディスクの3種目を楽しみ大いに盛り上がりました。ついでに私も、フライングディスクに挑戦させていただきました。



障がい者のみなさんと健常者が共に笑顔で過ごせる街、素敵ですよ。

ボランティアの皆さん、関係者の皆さんありがとうございました。今後ともがんばって下さいね！



7月26日(土) 於:こうのすシネマ多目的ホール 第9回 なかやしき慎一県政報告会



お忙しい中、200名の皆様にご参加をいただきました。映画館を改修した、ゆったりとお聞きいただけるホールで、プロジェクターを駆使して40分の報告をキッチリとさせていただきました。

発行者: 県議会議員 中屋敷慎一
《事務所連絡先》
中屋敷慎一事務所
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103号
電話 048-541-8110
FAX 048-541-0256
E-mail
challenge@nakayashiki.net
県議会へのご質問、ご意見、ご要望承っております。

編集後記

議会も終わり気が抜けたのか、原稿打ちをしながらおでこに手を当ててみると、「んっ」何だか熱いなあ。と思い熱を計ったら37.6度。風邪ですなー。やっぱりうたた寝なんかしちゃダメですね。季節はすっかり「秋」になりました。朝晩の冷え込みも始まったようです。市民の皆さんもご愛くださいね～。さっ早く寝よ。 慎一